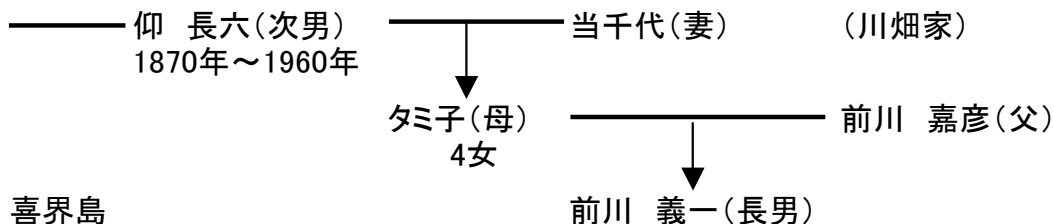


## 浦實衆(うらざねしゅう)の系譜 奄美大島芦花部

初代 仰 浦實(善康志)  
 ↓  
 2代目 仰 浦實(浦栄志)  
 明治23年死去  
 ↓  
 3代目 仰 浦長志(長男)  
 大正9年死去  
 ↓  
 4代目 仰 長一  
 昭和24年死去  
 ↓  
 5代目 仰 長政

——— 家老から直接、郷士格に任命される。(明治2年)



### <浦實の役職>

1834年(天保5年)	笠利間切一赤木名方一重津口横目(船の出入り監視)
1836年(天保7年)	加計呂麻島 渡連の横目(安脚場を開拓)
1856年(安政3年)	笠利間切 赤木名方一与人寄役
1857年(安政4年)	笠利間切 笠利方一与人定役に昇進
1859年~1862年	<b>西郷 隆盛 奄美大島への潜伏期間</b>
1865年(元治2年)	名瀬間切 龍郷方一与人
1867年(慶應3年)	名瀬間切 龍郷方一与人を退役
1868年(明治維新)	笠利間切 笠利方一与人を退役
1869年(明治2年)	奄美大島最後の郷士格を鹿児島島の城で、家老から直接任命された。
1871年(明治4年)	廃藩置県で藩政の終わりを迎える。

### <西郷 隆盛 奄美大島潜伏>

1859年1月(安政6年)	西郷 隆盛が、菊池 源吾の名で奄美大島の龍郷に上陸
1859年11月	愛加那と結婚
1860年~1861年	半年ほどを芦花部の島役人(浦實)の役人宿所で過ごし、1860年師走に 浜に打ち上げられた、鯨の捌き方を指導するなど、集落の人々と交流があった。
1861年1月(文久元年)	菊次郎誕生
1861年11月(文久元年)	竜郷村に新家屋落成
1862年1月(文久2年)	村田 新八と共に西郷が鹿児島島へ戻る